

報道機関 各位

問い合わせ先:社会教育課 文化財係
担当者:猿渡・瓜生
連絡先:0944-32-9183

市内各地で祇園祭開催

～祇園祭で暑気払い～

祇園祭は夏に行われる暑気払いの祭りで、京都の祇園社(八坂神社)に発し、祇園祭の伝播とともに全国に広がったと言われています。

市内においても、スサノウノミコトを祭神と祀る八坂神社、八剱神社にて祇園祭が行われています。

江戸時代のみやま市は柳川藩の支配地域で、藩主の立花宗茂は祇園宮(社)の信仰が厚かったと伝えられており、市内の神社の中には、立花宗茂とのかかわりが多くみられます。

祇園祭のスケジュール

- 「江浦町祇園」(江浦町の淀姫神社)【高田町】 7月20日(土)13時～、20時～
- 「渡瀬祇園」(渡瀬の八剱神社)【高田町】 7月27日(土)17時～

「渡瀬祇園祭」「江浦町祇園祭」は大蛇山がまちを練り歩きます。大蛇山は前後に、竹と紙で作られた大蛇を模した作物の、頭と尾を飾り付けた、屋形の付いた山車(だし)のことで、山車に人が乗り、太鼓や鉦(かね)を打ち鳴らし祇園囃子を奏でます。

「江浦町祇園」は高田町江浦町の淀姫神社境内に祀られている八剱神社の祇園祭です。町内の古町組、新町組、二ノ丸・吉原組の3つの大蛇山と踊り手を乗せた田中組の踊り山が巡行します。4山車競演が祭りを盛り上げます。



渡瀬祇園



江浦祇園

■「小田祇園祭」(唐尾の八坂神社)【瀬高町】 7月20日(土)19時～

「小田祇園祭」は「八坂の祭礼」として市指定無形民俗文化財です。唐尾の八坂神社の祇園祭です。花櫛(はなぐし)で飾られた山車(だし)が地域を巡行し、その下をくぐると無病息災になると伝えられています。

■「大提灯(大提灯まわし)」(上庄八坂神社)【瀬高町】 7月21日(日)19時～

■「大人形」(上庄八坂神社)【瀬高町】 7月24日(水)12時～25日(木)12時

「八坂の祇園」と呼ばれ、上庄の八坂神社の祇園祭です。21日の行われる「大提灯」と24日～25日の「大人形」を合わせて「大提灯・大人形」県指定有形民俗文化財を受けています。「大提灯」は人物、風景等を魚鱗・魚皮・虫の羽・貝殻・木材などを使って緻密に描いた高さ 2.5 m、直径 1mの華やかな大提灯が八坂神社周辺を練り歩きます。常時は八坂神社境内に展示されています。

「大人形」は地元では、「うう人形さん」と親しみ込めて呼ばれています。昔より「筑後の奇祭」として知られ、右に源義家、左に安倍貞任(さだとう)・宗任(むねとう)(1年ごとに交替)の(本年度は安倍貞任(さだとう))二駆の大人形を御仮屋に安置し、その股下を潜り抜けることで一年の無病息災・平安無事を願います。午後10時に大人形は境内に築いた祭壇「筍山」に鎮座されます。